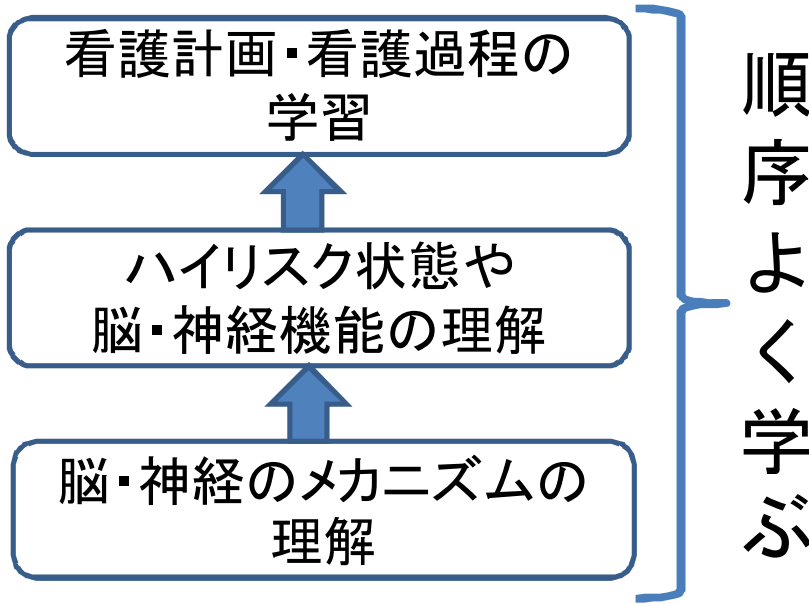


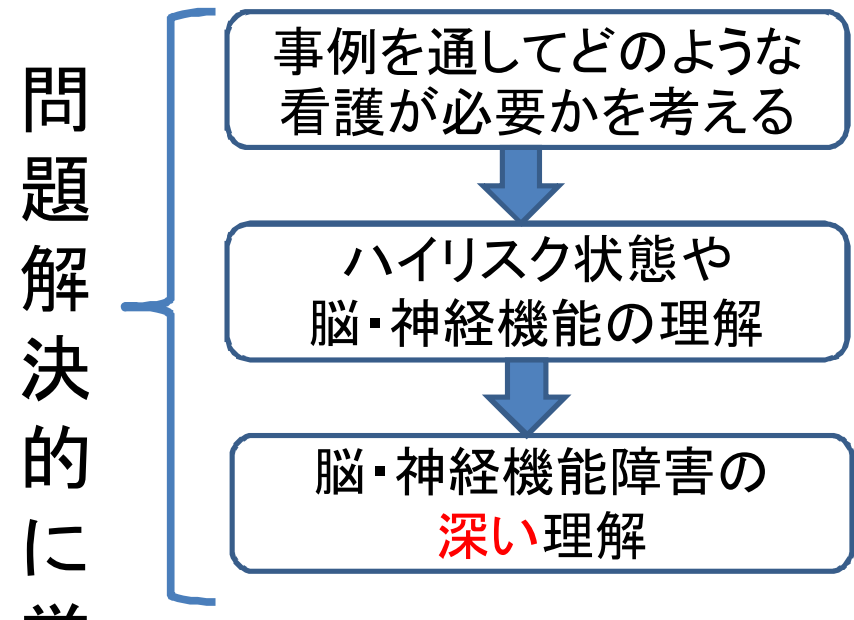
体系的学習と状況に埋め込まれた学習のハイブリッド設計

体系的学習



授業展開としての体系的学習

学習者の関心・理解を高める
問題解決的学習



逆向き設計

ハイブリッド型授業(「事例」(状況)と「理論」の混融)でどのような力が身につくか？

事例:脳血管障害を発症した人への看護:急性期

生活と疾患を
症状でつなぐ

Aさんの生活に関する情報を集約すると・・・
脳血管疾患発症のハイリスク状態がわかる

(動脈硬化／糖尿病／脂質異常症との関係もわかる)



脳・神経機能とア
セスメントの関連

AさんのCT結果／画像でみる脳動脈瘤・・・
→看護問題へと結びつけていく

(アセスメント結果をもとに回復期の看護を考える)

【伝言ゲームのなかにある「看護実践能力」とは？】

- 緊急時に何をポイントに伝えればよいかを学ぶ
- 生命を1秒も無駄にすることなく、救い支える看護師

単なる「事実」の列挙ではなく、 看護に必要な「情報」を収集するには？

身体的つながり

・・・専門用語で「つながる」以前に、人は身体を通して「理解（実感）」を得る



心理的つながり

・・・身体的につながって
いなくても、「言葉」を介して
理解が深まる

【看護師と患者の間（心理）をつなぐ実践力】

→「視点を教わる」のではなく、「視点をもって考える」授業

アセスメントから看護計画を考える学習過程 で学びを深める指導のポイント

「視点をもつ」ことで学びを深めていくことができる

各教科等の学びの深まりの鍵となるのが「見方・考え方」である。



学びを深めていくためのいくつかのポイント

① 新しい知識及び技能を既にもっている知識及び技能と結び付けながら社会の中で生きて働くものとして習得したり, 思考力, 判断力, 表現力等を豊かなものとしたり, ② 社会や世界にどのように関わるかの視座を形成したりするために重要なもの

③ 習得・活用・探究という学びの過程の中で働かせることを通じて, より質の高い深い学びにつなげること

(特別支援学校学習指導要領解説総則編【平成30年3月版】,pp252より)